

2024年11月18日作成 Ver.1.0

《情報公開文書》

成人T細胞白血病(ATL)発症高危険群の同定と発症予防法開発を目指す研究

研究の概要

【背景】

日本全国には、国民の1%にも相当する100万人を超えるHTLV-1キャリアが存在し、今後5万人以上のATL(成人T細胞白血病)患者が発生すると予想されます。ATL発見当時から精力的に行われてきたATLに対する治療は、著しく改善していないのが現状で、全白血病、リンパ腫の中で依然として最も予後不良であることに変わり無く、発症後1年以内に約半数が死亡します。そのため、新たな治療法の開発が待たれるとともに、キャリアの中からATLの発症予備軍=発症高危険群を同定し、積極的に発症予防を試みる事が重要と考えられます。

【目的】

Joint Study on Predisposing Factors of ATL Development (JSPFAD)は、2002年よりHTLV-1キャリアのコホートを構築し、定期的にHTLV-1キャリアを追跡し、基本的な臨床情報に加えて、採取した末梢血試料を用いて種々の血液学的・免疫学的・ウイルス学的情報等を解析してATL発症のハイリスク群を同定することを研究の目的としています。

【意義】

JSPFADが全国規模のATLのレジストリ・バイオマテリアルバンクを形成することで、試料の遺伝情報解析研究、ATL発症に係わる候補遺伝子の絞り込みや遺伝子多型解析等を通じてATL発症の遺伝的背景を明らかにする事を目指して発症予防と治療法開発研究に寄与することができません。

【方法】

長崎大学病院 産科婦人科学教室は、JSPFADに収集された情報を用いて解析を行い、HTLV-1感染経路およびHTLV-1関連疾患の発症リスクの関連に関して研究を行います。

対象となる患者さん

JSPFAD共同機関を受診し、本研究の目的と内容に関する説明を受けて参加について同意したHTLV-1キャリアおよび関連疾患患者を対象とします。例年制限は設けず可能な限り登録します。長崎大学病院 産婦人科教室では患者情報や検体の収集やJSPFADへの提供は行いません。

研究に用いる情報

<p>JSPFAD 共同研究機関で収集された患者情報、アンケート調査、細胞性状解析、遺伝子解析結果を提供して頂き、長崎大学病院 産科婦人科学教室では HTLV-1 感染経路および HTLV-1 関連疾患の発症リスクの関連に関して研究を行っていきます。</p>	
情報の利用開始予定日／提供開始予定日	
<p>本研究は 2024 年 12 月 12 日より「研究に用いる試料・情報」を利用する予定です。</p>	
研究実施期間	
<p>研究機関長の許可日～永年</p>	
研究実施体制	
<p>長崎大学病院における 研究責任者</p>	<p>所属：長崎大学病院 産婦人科 氏名：三浦 清徳 住所：長崎県 長崎市 坂本 1-7-1 電話：095 (819) 7363</p>
<p>研究代表機関 研究代表者</p>	<p>機関名：聖マリアンナ医科大学 氏名：山野 嘉久 住所：〒216-8511 川崎市宮前区菅生 2-16-1 電話：044-977-8111 (内線 3155)</p>
<p>共同研究機関／研究責任者</p>	<p>この研究は研究代表機関を中心に全国の約 60 機関で実施します。詳しい研究機関についてお知りになりたい方は下記の「お問い合わせ先」までご連絡ください。</p>
問い合わせ先	
【研究の内容について】 長崎大学病院 産婦人科 三浦 清徳 〒852-8501 長崎市坂本 1 丁目 7 番 1 号 電話：095 (819) 7363 FAX 095 (819) 7365	
【ご意見、苦情に関する相談窓口】（臨床研究・診療内容に関するものは除く） 苦情相談窓口：医療相談室 095 (819) 7200 受付時間：月～金 8：30～17：00（祝・祭日を除く）	